

「中国・アジア」ダイジェスト

2015.02.23-03.06

*記事は東京発行・最終版

CHINA

2月23日(月)

大豊工業、軸受材40%増産
月700t/常州恒業に国内と同ライン

大豊工業は、中国で自動車エンジン用すべり軸受の材料「バイメタル」を増産する。月産40%増の700tに。貿易した常州恒業軸瓦材料に国内と同様の一貫生産向け自動ラインを整備する。(9面)

テスラ、中国責任者が辞職
販売不振

米テスラ・モーターズ副総裁兼中華圏最高マーケティング責任者の金俊氏が辞職した。中国の販売不振。1月は約120台、予想を大幅に下回った。中国紙、毎日経済新聞が報じた。(9面)

フォード、新型SUV来年投入
総投資額12億1200万元

米フォード・モーターが出资する中国商用車メーカー、江鈴汽車が独自に開発したSUV「N330(開発名)」を生産する。総投資額は12億1200万元で、2016年下期に市場投入。(9面)

2月24日(火)

「プロント」、上海で出店攻勢
昼: カフェ/夜: バー

プロントコーポレーションは、上海で展開する「プロント」を3~5年間で現在1店舗から10店舗に増やす。昼はカフェ業態、夜はバー業態。シンガポールやマレーシアへの出店も視野に。(10面)



2月25日(水)

春節「爆買い」列島フィーバー
百貨店4倍/免税売上高

「春節」休暇で日本を訪れた外国人客の「爆買い」が、流通業界に旋風を巻き起こした。百貨店は軒並み免税売り上げが2014年に比べ3~4倍を記録。菓子や日用品・化粧品も春節フィーバー。(20面)

2月26日(木)

川重、中国で初受注
ストーカー炉方式ゴミ焼却施設

川崎重工業は、中国セメント大手コンチグループと、ゴミ焼却プラント「ストーカー炉」を中国で初受注した。安徽省金寨県からストーカー炉の設計と調達業務を受注。受注額は20億30億円。(1面)

3月2日(月)

タブレットで外国人案内

英・中国語など/大日本印刷

大日本印刷は、タブレット端末で外国人向けの多言語案内サービス。英語、中国語など5言語。ホテル、銀行、公共交通機関向けに提案する。外国人と担当者、通訳が端末の画面上で対面。(11面)

液晶パネル材、海外を強化

富士フイルム/上海を増員

富士フイルムは、海外で液晶パネル用材料を強化。液晶TVやスマートフォンの生産地・中国では上海市で担当を増員。タブレット端末企業が立地する米国では専任スタッフを配属。(12面)

3月3日(火)

トヨタ、中国新車18.6%増
2月6万1500台/出足好調

トヨタ自動車は、2月の中国の新車販売は前年同月比18.6%増の6万1500台。1~2月累計は13.6%増の15万6200台。2014年通年は12.5%増、市場全体の伸び(6.9%増)を上回った。(時事=5面)

華為、スマートウォッチ
アンドロイド・ウエア搭載

中国・華為技術は、腕時計型携帯端末(スマートウォッチ)を発表。文字盤部分は円形をしており、米グーグルのウエアラブル端末向けOS「アンドロイド・ウエア」を搭載。(時事=9面)

エーザイ、固形剤で新工場

年産2倍・50億錠/医薬品成長対応

エーザイは、江苏省蘇州市に固形剤生産棟を新設し、年間生産能力を約2倍の50億錠に高める。中国における医療用医薬品市場の成長に対応。現行の蘇州工場は閉鎖する。(11面)

ハムロン・テック、上海に拠点

防水性能試験機

ハムロン・テックは、上海に気密性防水性能試験機などの販売子会社を設立する。売上高構造で中国を中心とする海外が国内を逆転。中国市場の深耕には自社拠点が必要と判断。(23面)

3月4日(水)

マツダ、1~2月最多を更新
2月62.4%増/1万5991台

マツダは、2月の中国での新車販売が前年同月比62.4%増の1万5991台となった。1~2月の累計は7.7%増の4万529台で同期として過去最多。一汽車との合併ブランドが2.2%増。(時事=6面)

3月5日(木)

セイコー、岐阜工場を閉鎖
中国・タイに委託/置き・掛け時計

セイコーエフD傘下で置き時計や掛け時計を生産するセイコーコロックは、国内唯一の製造拠点である岐阜工場を閉鎖する。生産は今後、タイと中国の委託先工場に集約する。(6面)

3月6日(金)

住友重機、上海で組み立て

産口ボ精密減速機

住友重機工業は、上海工場で産業用ロボット向け精密減速機の組み立てに乗ります。名古屋製造所で手がける精密減速機の約2割を移管する。出荷までのリードタイムを1~2週間短縮。(1面)

中国、経済成長が鈍化

GDP7.0%成長/11年ぶり低水準

中国政府は、全国人民代表大会で2015年のGDP成長率目標を7.0%前後に設定した。過去3年間の7.5%前後から0.5%引き下げ11年ぶりの低い水準。高速成長から中高速成長にシフト。(2面)

次回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面
の次回は23日(月)に掲載します。GM、新車1.3%増26万1072台
2月/単月で最多更新

米GMは、2月の中国での新車販売が前年同月比1.3%増の26万1072台だった。2月では最多のセールス台数。上海GMは「シボレー」がプラスに転じて、2.4%増の11万2568台。(時事=5面)

スパイナルエスカレーター納入
三菱電機/上海新世界大丸百貨

三菱電機は、上海市の大型商業施設「上海新世界大丸百貨」に、らせん状に昇降するスパイナルエスカレーターを12台納入した。ほかにエレベーター15台、通常のエスカレーター24台。(10面)



TELOP

ナブテスコ、完全子会社化
減速機用歯車生産(24日7面)中国社納入の冷間圧延設備が稼働
英プライメタルズ(25日7面)マルカキカイ、タイ保守拡充
工作機械/シブヤ・マシナリーと提携
マルカキカイは、タイで工作機械の保守サービス拡充を狙い、シブヤ・マシナリーと提携した。予防を含む保守サービス需要が増大傾向。自前で行ってきた専門業者と組む。(7面)

ASIA

2月23日(月)

デンソー、カンボジアに新工場
2輪・4輪部品/現地2工場目

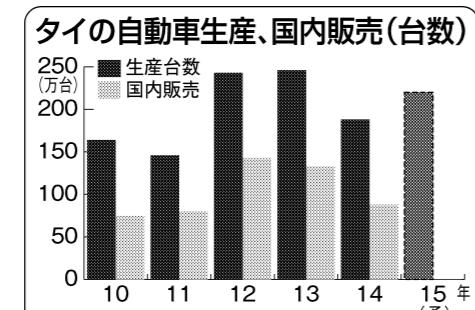
デンソーは、カンボジアに2輪車と4輪車の部品の新工場を建設する。2016年3月稼働。投資額は約22億4000万元。カンボジアでは2工場目となる。2輪車用発電機を全量をタイに供給。(9面)

ミネベア、タイで増産
航空機向け軸受製品/35%

ミネベアは、タイで航空機向け軸受製品「ロッドエンド」の生産能力を2016年に35%程度引き上げる。スマートフォンLEDバックライトの生産拠点新設でできた場所に加工機械を導入。(10面)

金融向けシステム、東南ア開拓
日立システムズ

日立システムズは、金融業向けシステム「フィノーバ」の海外での販売を強化する。日本企業の海外拠点が中心だったが、東南アジアの発展で、主要国での現地金融業へ拡販し顧客を開拓。(13面)



の自動車生産が前年同月比2.2%増の16万6200台になった。プラスは2013年6月以来19ヶ月ぶり。国内販売は不振が続くが、輸出が好調に拡大。

ベトナム新車販売1%減
特別消費税下げ見送りで伸び悩み

ベトナム自動車工業会は、1月の新車販売が前月比1%減の1万9979台だった。特別消費税の引き下げが見送られたことで、販売が伸び悩んだ。トップはトヨタ自動車で36%増。(5面)

長谷工、ベトナム進出
邦人向け賃貸集合住宅

長谷工コーポレーションは、ベトナム・ハノイ市で邦人向けサービスアパートメント(賃貸集合住宅)を始める。専門工事会社の確保や資材調達の体制を整える。アジアでの展開は初。(20面)

インドにアルミホイール新工場
光生アルミ/年100万台

光生アルミニューム工業は、インドにアルミホイールの新工場を建設する。現地企業と合弁会社を設立。年産100万台体制。49億4500万元投資。スズキの印度子会社の増産要請に応える。(5面)

JFEエンジ、ミャンマー増産
橋梁工場/2倍年2万トン

JFEエンジニアリングは、ミャンマーの橋梁工場を増強する。生産能力を2倍の年産2万トンに引き上げる。道路や鉄道向けの鋼構造物受注が好調で、同工場はフル生産が続く。(7面)

IHI、褐炭ガス化炉を実証
インドネシア

IHIは、褐炭から合成ガスを製造する二塔式ガス化炉の受注に乗り出す。処理量は1日当たり500~1000tを想定。このほどインドネシアで実証プラントを稼働した。



2月26日(木)

明電舎、資本提携を断念

ミヤンマー変圧器大手

明電舎は、ミヤンマーの変圧器大手アシア・ゼネラル・エレクトリックとの間で、約2年前から交渉していた資本提携を断念した。市場が小さく、需要が拡大するには時間を要すると判断。(11面)

インドネシアに物流施設
西ジャワ工業団地/自動車向け

日立通商は、インドネシア・西ジャワ州に物流施設「カラワンロジスティクス・サポートセンター」を設置する。ミトカラワーン工業団地内に建設。完成車や部品など自動車向け。

インドネシア乗用車生産中止

G.M./SUVに集中
米GMは、インドネシアで自社ブランドの乗用車生産を打ち切る方針。工場は閉鎖、約500人を解雇し、SUVの生産に集中する。約80年前、現地初の乗用車組立工場を建設。VOLTE米韓と通話成功
NTTドコモ

NTTドコモは、韓国KT、米国ベライソンと協力し、国内で初めて日本と韓国、日本と米国間で高音質の通話を可能とする技術「VOLTE」の国際ローミング接続の実証実験に成功。(11面)

王子、インドに段ボール会社

王子HDは、インドで重量物包装用段ボール会社を4月に設立する。現地では2輪車増産や、完成車や部品の輸出が増加。重量物包装用段ボールや、箱・シートの旺盛な需要に対応。(12面)

シンガポールに新興国統括拠点
武田薬品/スイスから移管

武田薬品工業は、アジア太平洋を含む新興国の事業を統括する拠点をシンガポールに開設。スイスから移管。併せてワキチン事業やアジア研究開発センターも

2月27日(金)

双日、部品を混載輸送

カンボジア/タイ/南部回廊

双日は、カンボジア・タイ間で小口貨物に対応した定期混載輸送を始める。中小企業を含めた部品メーカーを中心提供。両国およびベトナムを結ぶ幹線道路「南部回廊」で陸送する。(1面)

双日が計画する定期混載輸送サービス



2月25日(水)

タイ自動車産業に構造変化の波
東南ア国内産業育成に動く

日系メーカーが、高シェアのタイ自動車産業に構造変化の波。東南アジアでは各國がエコカー政策で国内産業育成に動く。非日系の本格進出も計画されており低価格競争が始まろう。(5面)

タイ車生産19カ月ぶりプラス

1月16万6260台/輸出が好調

タイ工業連盟自動車産業部会は、1月

同じオフィスに集約。(12面)